

**2018年3月期決算説明会 質疑応答要旨**

株式会社 平和

**【遊技機事業】**

**Q1. 2018年度の市場販売台数予想について。決算説明会資料 P.24 によれば、2017年度より更に減少する予想だが、この予想の背景を教えてください。**

A1. 2018年度の市場販売台数はパチンコ機 124 万台、パチスロ機 63 万台と予想している。パチンコ機は減少、パチスロ機は 6 号機の登場によりほぼ横ばいとしている。2018年2月1日に「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」が施行されたが、これにより、2021年1月31日までの3年間で市場に設置されている遊技機約 400 万台を入れ替えていくこととなる。旧規則機は検定切れ・認定切れに伴い撤去されていくが、徐々に入れ替えが行われていくと考え、2018年度の予想値となっている。

**Q2. パチスロ 6 号機により市場が活性化するという見方もあるが、平和はどのように考えているか。**

A2. 6 号機の申請は 2018 年 4 月 1 日から始まっており、最短で夏ごろには導入され、年末にはどのメーカーも販売してくると考えている。当社は年末前には 6 号機を販売したいと考えており、開発を進めている。市場が活性化するかは 6 号機が年末に多く導入されてから、どのような評価を受けるか次第である。

**Q3. 2019年3月期の発売タイトル数は、パチンコ機 6 タイトル、パチスロ機 7 タイトルとのことだが、その中で新規規機はどのくらい含まれているのか。**

A3. タイトル数は回答できないが、パチンコ機、パチスロ機ともに下期になる予定である。

**Q4. 2019年3月期に発売する遊技機の本体（筐体）とゲージ盤（ユニット）の比率を教えてください。**

A4. パチンコ機 本体 7 : ゲージ盤 3、パチスロ機 筐体 4 : ユニット 6 の割合を見込んでいる。

**【ゴルフ事業】**

**Q5. 「GRAND PGM」の収益と費用のインパクトを教えてください。**

A5. 2018年3月期は設備投資を含まない額で 5 億円弱の費用を計上している。一時的な費用であるため、2019年3月期は発生しない見込み。「GRAND PGM」により顧客単価は上昇しているが、売上高全体を押し上げられるところまでには至っていない。

**Q6. 株主優待関連費用が増えているとのことだが、2019年3月期はどのくらいの想定なのか。**

A6. 株主優待関連費用は、2018年3月末時点の株主数が 2017年3月末時点に比べて 2 万人ほど増加しているため、増えている。2019年3月期は株主優待関連費用として、20 億円ほど発生すると見込んでいる。

**【その他】**

**Q7. 2017年12月に北海道北広島市に提案したIR（統合型リゾート）開発の進捗状況を教えてほしい。**

A7. 当社は昨年12月に北広島市を訪問し、当社が考えるIR構想を説明した。現時点において、北広島市はIR誘致を表明していないが、特定複合観光施設区域整備法は、遅くとも年内には成立すると考えており、当社提案の採否は、それまでには判明すると思われる。

**Q8. 平和がIR開発を提案した北広島市が、立候補しなかった場合には、IRに関して他の選択肢はあるのか。**

A8. 今は北広島市に絞って取り組んでいきたいと考えている。

以上